

2024（令和6）年度事業計画書

（1）研修会への積極的な参加

毎年、オンデマンドによるキャリアアップ研修を多くの職員が受講している。保育士だけでなく、保育施設に勤務する者として給食担当者や事務職員にも受講を促し、子どもたちのためによりよい環境を作れるよう、今後も職員の学びの場を増やしていく。

また講師の先生を招いて、法人主催の対面式の研修も実施していく予定である。

（2）施設間の交流

定期的に各施設の園長、主任、栄養士など役職ごとに情報交換の場を増やしていく。それぞれの施設を理解し、良いものは取り入れ、改善点があれば助言し合い、互いに高め合える関係を作っていく。

また同じ年齢の子どもを受け持つ保育士同士の交流の場は、少なくなってしまうている。法人主催の研修会を開く時には、同時に保育士同士が意見交換を行えるような時間も設けていく。

（3）社会保険労務士の指導による職場環境の整備

現在、当法人の評議員である社会保険労務士の吉田尚弘氏を招いて、月に一回程度、各施設の事務職員が集まり話し合いの場を設けている。この時だけに限らず、各施設で労働に関する疑問が生じた場合には、吉田氏と連絡を取り、助言をもらうようにしている。年々働き方の制度が変わっていく為、新たな制度に対応していけるよう、今後も継続してご指導いただく。

（4）経営改善

令和5年度において、賞与の支払いが難しかったり、給与の支払いに賞与の為の人件費積立金を取り崩したり、資金のやり繰りが厳しくなっている。最低賃金や社会保険料が上がり人件費が増していくのに併せて、水道光熱費や食材費等も上がっている。施設によって給与や賞与の支払いに偏りが生じないよう、園長や事務職員同士が話し合いながら、また当法人の理事である税理士の半澤康夫氏に助言をもらいながら、経営の立て直しを行いたい。

（5）事務局の設置

前理事長である平塚幹夫氏が以前から計画していた事務局の設置を進めていきたいと考えている。理事長や役員が代わり法人を運営していく中で、事務局が各施設をまとめることによって、それぞれの施設運営が行いやすくなるよう手伝いをしていく。

（6）第一光の子保育園の定員変更について

年々園児の減少が進む中、運営費収入の面から見ても、第一光の子保育園の定員を200名から160名に変更していきたい。但し、待機児童数なども見据えながら、大河原町と協議をして進めたい。